



国際会長主題
アジア太平洋地域会長主題
東日本区理事主題

「輝かそう、あなたの光を」
「変革のための 光となろう」
「未来のために今、学びと気づきを！」
未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う」

Ulrik Lauridsen (デンマーク)
利根川 恵子 (川越)
山田 公平 (宇都宮)

東新部部長主題
クラブ会長主題

「All 東新部、継続・発展」
「心を尽くしてYMCAのために」

今井 武彦 (東京むかで)
小川 圭一 (東京世田谷)

会長 小川 圭一
副会長
書記

2023年12月会報

強調 テーマ
* 基督教理解 *
(I B C)

会計 小原 武夫
直前会長 峰 毅
担当主事 押山 愛紀子

↑ 今月の聖句

初めに言(ことば)があった。
言は神と共にあった。言は神であった。
この言は、初めに神とともにあった。
万物は言によって成った。
成ったもので、
言によらずに成ったものは何一つなかった。
言葉の内に命があった。
命は人間を照らす光であった。
光は暗闇の中で輝いている。
暗闇は光を理解しなかった。
新約聖書 ヨハネによる福音書 1章1-5節
増田琴牧師

本日のメインプログラム

- | | |
|---------------------|--------------------------------|
| 司会 | 村野 繁 君 |
| 1. 開会点鐘 | 小川 圭一 会長 |
| 2. ワイズソングと信条 | 一 同 |
| 3. ゲストとビジター紹介 | 小川 圭一 会長 |
| 4. 今月の聖句朗読 | 村野 繁 君 |
| 5. クリスマス礼拝 | 説教 経堂緑岡教会 増田 琴 牧師 |
| 6. 会食 | |
| 7. アトラクション・プレゼントタイム | |
| 8. ハッピーバースデイ | 12/16 秋田 正人 君
12/18 村野 絢子さん |
| 9. 結婚記念日 | なし |
| 10. ニコニコ献金 | |
| 11. 諸報告 | |
| 12. 閉会点鐘 | 小川 圭一 会長 |

★ 12月例会プログラム

とき 令和5年12月15日(金) 18:30~20:30
ところ 経堂緑岡教会 世田谷区経堂1丁目30-21
電話 03-3420-5361 (YMCA南センター)

11月のデータ	会員在籍	12名	例会出席者 11月17日(金)	11月のBF他献金	ニコニコファンド
	出席率	83%	会員 10名 メネット 0名 イキャップ 0名 ゲスト 4名 ビジター 1名 合計 15名	切手 0g 現金 0円 累計切手 0g	11月 6,300円 年度計 41,083円
	第2例会 11月23日 YMCAすずらん会		すずらん会 再開 ゲスト 6名 スタッフ 6名 合計 12名	2022~2023年度 自主献金については 今期もクラブからの 献金としました	

クリスマス礼拝

司会 村野 繁

奏楽 嘉村えりか, ゆりえ (カノン Duo シスターズ)

説教 増田 琴 牧師 (経堂緑岡教会牧師)

説教「暗闇の中の平和の祈り」

讃美歌「聖しこの夜」 参会者全員

※ 11月例会報告



「子どもの今」

東京メディエーションセンター代表理事
鈴木 佑輔 氏

ソーシャルワーカーとして 子供を取り巻く環境についてお話を。

(YMCA 保育園ねがいスタッフ・比嘉宜孝さん、前田海さんが、サンタプログラム参加の為 参加)

増えている不登校：

不登校の子どもの割合

小学校 1.3% (1.0%)

中学校 5.0% (4.8%)

世田谷区令和2年

保健室登校・給食登校、、、潜在的にはもっと多い

不登校の子 どのような生活をしていると思いますか
不登校のいる家庭 どのような様子だと思いますか
学校は どのような支援をしていると思いますか

不登校の子

毎日の様子について

オンラインゲーム Youtube

昼夜逆転 コミュニケーション

リストカット

不登校の要因

小学生：

複数の要因が

もう限界と最後のエネルギーで休む

中学生：

ひとりとして 同じ背景の子はいない

回復について

電池がゼロ まずはチャージを

楽しくオンラインゲーム？ 生きているため？

「休みたい？ 変えたい？ だったらどっちかな？」

要因がなくなったかもしれない 戻れない

保護者について

仕事、家族の生活、、、

学習面での心配

「まてない」

不登校の子へはどんな関わりが必要か

大人が気になるのは 「生活のリズム」 「勉強面」、...

本人の望むような形で進めていけるか

(チームで方針が立っていることが前提)

怖さのフォロー

同級生が？ 学校が？ 人が？ 外が？

生活のリズム 昼夜逆転食事

ひとり親家庭について

25年間で 約1.5倍 子どものいる世帯の6.4%

ひとり親になるタイミング 0~2歳:37% 3~5歳:20%

子どもが不登校になると

子どもの日中の心配

昼食の心配

ひとり親家庭の難しさ

不安定さを支える力

経済的な面 子どもが頼れる大人の人数

子どもの体験の格差

保護者(大人)が一人という

子どもの自殺が増えている

ストレスが内向きに

リストカットなど自傷行為の増加

コロナ禍によって

学校が休校に、入学式が亡くなる、オンライン授業、
コロナ禍により、家計が窮状。子育て所帯を救援。
世田谷サンタプロジェクトへ

※ 三茶にサンタがやってくる 2023

コロナ禍などから、家計が苦しくなった子育て世帯を
食で応援している「せたがやこどもフードパントリー」
未就学から高校世代まで約210家庭380人の子供たちが
利用しています。そのような家庭の子供たちにクリスマス
プレゼントが届くようにと、2020年から始めた活動、
今年で4回目となります。

世田谷の子供たちのサンタになって、三軒茶の駅周辺
を練り歩き、世田谷線の貸し切りサンタ電車に乗り込んで、
イベントを盛り上げています。

サンタさん：

比嘉宜孝さん、前田海さん（YMCA 保育園ねがい）
山本薫さん(liby)

支援・サポート：

三浦功雄さん、東京世田谷クラブ



※ 熱海ワイズメンズクラブ

60周年記念式典に参加して

11月26日（日）熱海クラブの60周年周年記念式典が
熱海後楽園ホテルで行われ出席。

第1部式典では会長挨拶、各来賓の紹介と挨拶
IBC（台湾・台中クラブ、マニラダウンタウンクラブ）
DBC（京都パレスクラブ、東京グリーンクラブ）の紹介
がありました。

第2部では記念事業の報告、記念撮影。
第3部懇親会へ、乾杯のあと熱海クラブ60周年の歩み、
IBC、DBC挨拶 キッズダンス、芸妓踊り、出席クラブ
紹介とあり、木遣で締めくくりと大盛会でした。

私にとって熱海クラブは52年前に故竹内さんのお誘
いで短い期間でしたがワイズの活動を教えていただいた
懐かしいクラブでした。メンバーはほとんど入れ替わっ
ておりましたが、今回も入会式もあり、頑張っている様
子が見られ、たのもしく思います。

（岩崎 弘 記）

※ YMCA 保育園ねがい たより

今年も球根と苗を植えることができ、感謝です。
春を美しく迎えられそうです。

きょうも、0歳児親子のデビューから土曜保育の園児
まで楽しみました。

お手伝いも、虫探しもついでに走ったり登ったり！
いつもとは違うスペシャルに興味津々の子どもたちで
した。お寒い中、本当にありがとうございました。

（今井園長 記）



☀ キャロリング・下北

12月2日(土) 15:00 讚美歌を歌う集い「キャロリング イン シモキタ」は、今年も下北沢駅前で開催され、日本語・英語・ハングル・ベトナム語、そしてウクライナ語の「きよしこの夜」を。「諸人こぞりて、神の御子は、牧人羊を、あらののはてに」などのクリスマスソングを歌い、平和なクリスマスが祝える日を待ち望んで。

次回2回目を、16日(土) 15:00 行います

(小川 記)



☀ 会長通信 2312

メリークリスマス

ウクライナやパレスチナでの戦争が、クリスマス休戦から停戦に向かいますように祈りましょう。

皆さま、よき新年をお迎えください。

1月例会で子どもたちの未来と、世田谷クラブの進め方をご相談します。

会長 小川圭一

☀ YMCA NEWS

1. 11月3日、「全体職員研修会」が東陽町センター、及びオンラインで開催され、東京YMCAグループの職員277名が参加した。阿部頼義氏(グレースガーデンチャーチ牧師/難民医療支援会プレシオン代表)に「隣人愛の精神と実践〜教会・難民支援の現場から」と題して基調講演をいただいた後、約40のグループに分かれて、感想等を分かち合う時間を持った。

2. イスラエルとパレスチナの武力衝突が激化しているが、世界YMCAの緊急支援の呼びかけを受けて、日本全国のYMCAで「パレスチナ緊急支援募金」を開始した。募金は、以前から紛争下にあるこの地域の平和を願い活動をしている3つのYMCA(ガザYMCA、東エルサレムYMCA、エルサレム・インターナショナルYMCA)が行う人道支援活動のために用いられる。

3. 11月16日、「YMCA・YWCA合同祈祷週礼拝」が東京YWCA、在日本韓国YMCA、東京YMCAの共催で開催され、山手センターとオンライン、合わせて55名が参加した。李省展(イ ソンジョン)氏(恵泉女学園大学名誉教授/在日本韓国YMCA理事)から「手を取り合って境界を越える」と題して奨励をいただいた。

4. 11月18日、「国際協力一斉街頭募金」を新宿駅周辺で4年ぶりに実施した。会員、ユースボランティア、学生、メンバー、職員など、133名が街頭に立ち、バングラデシュ、ウクライナ、パレスチナへの支援を呼びかけ、235,265円が寄せられた。

5. 11月23日に南センターで「あきまつり〜みんなでみなみ〜」を行った。定例野外グループ「おさんぽ」「冒険くらぶ」「Teens」と居場所プログラム「liby」のリーダー、そのOG/OGや中高生ボランティアが集まり、軽食コーナー、献品市コーナー、ミニゲームコーナーを作った。装飾では「YMCA保育園ねがい」の子どもたちが協力してくれ、当日もその装飾を見に遊びに来る家族も多かった。寄付含め総売上げは69,350円となった。

6. liby 報告

12月2日(土)にlibyとen×joy(発達支援系プログラム卒業生の余暇活動)合同でクリスマス会を行った。メンバー、リーダー、たんぼぼYサービスクラブからも小原会長が参加して下さり、総勢30名を超える仲間が盛り上がった。

今後の主な行事予定

- ・「山中湖センター100周年記念チャリティーボウリング」
2024年2月4日
(ボウリングサロン・ザ プリンスパークタワー東京)
- ・「第9回日中韓YMCA平和フォーラム」
2024年2月1日〜4日(上海)
- ・「ソシアスフォーラム2023」2024年2月17日
講師:佐渡加奈子氏
(認定NPO法人カタリバ/東京YMCA評議員)